

DELIGHTFUL 喜ばしい



ベートーヴェンの名言に、「苦悩から歓喜へ」という言葉があります。それは、苦しくてつらいことを克服すれば、きっと良いことが待っているということです。

この言葉の通り、耳が不自由なベートーヴェンは、交響曲第九番「歓喜の歌」という傑作を生みだし、今でも世界中の人々に感動を与え続けています。

新型コロナウイルスの影響で不自由な生活を強いられていますが、その中でも希望をもち、明るい社会がよみがえることを信じていくことが大切です。

**“今きみができることを、日々重ねていこう。
そうすれば、喜ばしい未来が待っている。”**

2年D組担任 酒井 陽一